

～伝える広報から、つながる広報へ～

見附市広報戦略を策定しました

広報の在り方を再編し、人と地域が「つながる」広報の実現を目指します

1. 戦略策定の目的と背景

- ・ 全国の各自治体が抱える人口減少や少子高齢化の進展が及ぼす社会課題に対応するためには、行政単独でのまちづくりではなく、市民や市外の方々と信頼関係を構築し、地域への「参画」と「協働」による持続的なまちづくりを目指すことが不可欠です。
- ・ また、近年のICT（情報通信技術）の急速な進展により、市民生活におけるデジタル環境と「情報」をめぐる環境が大きく変化しています。
- ・ 本戦略では、こうした社会課題や市民の生活環境の変化に対応するため、**広報の在り方を再編**し、これまで以上に選ばれる見附市を目指し、既存の**伝える**広報から、人と地域が**つながる**広報への変革を実現することを目的としています。

2. 基本理念

「選ばれる見附市」を目指して、
人と地域が「つながる」広報を実施します

広報を通じて①市民との信頼関係を構築し、②地域への愛着を醸成することを目標に、職員一人ひとりが現状課題を自覚し、改善を行うことで、目指すべき姿である「選ばれる見附市」に向けた広報を実施します。

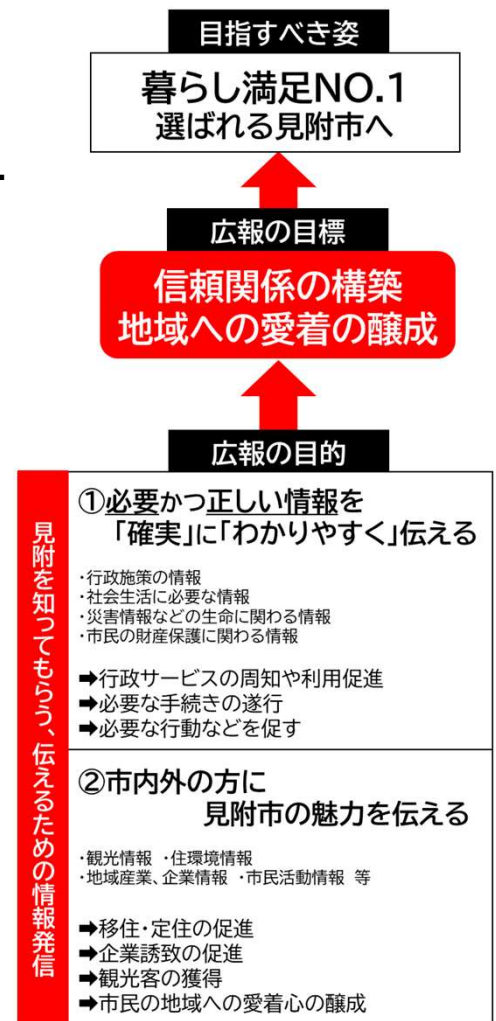
3. キャッチコピー

～全職員が市民とつながる～

「職員全員広報担当」

4. 行動指針

- ① 寄り添う広報 ～多角的な目線でデザインします～
- ② 伝わる広報 ～適正な手段で正確な情報発信に努めます～
- ③ つながる広報 ～複数の目線を意識し創造的に発信します～



5. 3つのアクションプラン

アクションプラン1 情報共有・連携の強化

・広報担当部門の体制強化、および見附市広報編集部会（仮）の組成

担当部門の体制強化および、庁内組織を横断した「見附市広報編集部会（仮）」を組成し、組織的かつ戦略的な情報発信の推進、全庁的な情報共有と連携強化のほか、効果的な情報発信手法の検討や、業務改善提案等さまざまな課題の解決を目指します。

アクションプラン2 発信手法の検討・改善

・市ホームページの全面リニューアル（R5年度：更新予定）

政策広報で最も重要な媒体である市のホームページを、より「伝わるホームページ」となるように更新します。誰もが①迷わず、②検索しやすく、③興味関心が持てるページ作りを目指します。

・情報発信媒体の精査と新規導入（R5年度：新規媒体導入予定）

情報発信媒体の管理、PUSH型配信媒体の新規導入、既存媒体の統合・廃止など検討を進めます。「必要な情報を、必要な方へ、適切に届ける」ために、市民ニーズや社会環境の変化把握し、きめ細やかな情報発信を推進します。

・パブリシティの強化

プレスリリースや定例記者会見の実施を強化し、市内外への情報発信強化を図ります。

アクションプラン3 職員の意識向上

・職員向け広報サポートツール「見附市広報ガイドライン」の改定

現在運用している「広報心得帳」を「見附市広報ガイドライン」として新たに定め、全庁的な広報スキルの底上げを行います。

・積極的な広報活動の促進

「見附市広報ガイドライン」を基盤に、職員自身が積極的な広報活動に努めます。

事業構成図

